

牛久市社会教育委員会議事概要		日時	令和6年4月20日(土曜日)
件名	令和6年度第1回社会教育委員会議	場所 時間	牛久市中央生涯学習センター 10:00~11:30
作成年月日	令和6年4月26日(金曜日)	作成者	生涯学習課：木村 翠
出席者	(出席委員) 議長 武田直樹、副議長 唯根勉、田井鉄男、高野しのぶ、吉田正人、種子田孝子、宮本芳子、竹上謙一、佐々江健治 (牛久市) 教育部長 小川茂生、教育委員会次長兼スポーツ推進課長 高橋頼輝、中央図書館長 山越義弘 (事務局) 生涯学習課長 糸賀珠絵、課長補佐 宮田夏海、主任 横瀬幸子、主事 木村翠、 (傍聴者) なし <div style="text-align: right;">(順不同・敬称略)</div>		
議事内容	1) 社会教育関係団体に対する令和6年度補助金について 2) 令和6年度社会教育関係課等の事業概要について		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 教育部長挨拶 3. 任命書交付 4. 自己紹介 5. 議事 1) 社会教育関係団体に対する令和6年度補助金について 上記における各課所管事業の取り組み状況及び進捗状況について、資料「令和6年度社会教育関係団体に対する補助金(様式1)」に基づき、スポーツ推進課・生涯学習課からそれぞれ説明を行った。 2) 令和6年度社会教育関係課等の事業概要について 上記における各課所管事業の取り組み状況及び進捗状況について、資料「令和6年度事業概要(様式2)」に基づき、各課からそれぞれ説明を行った。 今後の予定について事務局より説明を行った。			
【質疑等】			
社会教育関係団体に対する令和6年度補助金について			
委員	牛久婦人会(生涯学習課)について。補助金額が10万円(前年度)から0円(今年度)に変わったという事は、活動が停止されたからでしょうか。		
担当課長	活動は継続しています。以前は、牛久・岡田・奥野の三団体へ補助金を交付していましたが、現在は1団体のみへの助成となり、その補助内容について補助金適正化委員会で精査されたものです。補助金なしとはなりましたが、今後も婦人会は自身の会費の中で活動を継続していきます。		
委員	ふれあい牛久沼文化の集い(生涯学習課)について。 ・補助金額が5万円から0円に減額されており、これによりふれあい牛久沼文化の集いの活動ができなくなるのではないかと。 ・これは極端な変動に思えますが、活動を継続するのであれば若干の減額はありとしても、補助金を全く出さないというのはきついのでは？		

担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規模は縮小した形になりますが、今後も活動は継続されます。6月にも実行委員会を予定しています。</li> <li>・市内の生涯学習センターを利用している団体が多数ある中で、ふれあい文化牛久沼の集いに参加している、かっぱの里・三日月橋生涯学習センターを利用している団体のみへの補助金交付に対していかがなものかという考え方があったかと思われます。しかし、ただ今の提言を受けまして、団体とも相談をしながら次年度の予算計上につなげてまいりたいと思います。</li> </ul>
委員	<p>エスカードシネマクラブ（生涯学習課）について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エスカードシネマクラブへの補助金は「エスカードホールを活用した文化活動を支援する」事業から支出されているが、この事業項目からであれば映画以外の文化活動にも支援を拡げてはいかがか。</li> <li>・補助金額に対しクラブ会員が少なめで、非常にお得な事業だったと記憶しています。エスカードホールはとても良い施設なので、映画以外のほかの文化活動にも拡げていけたらよいと思います。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点をエスカードとしています。映画に特化した活動とは限りません。団体の方もその点は理解したうえで活動しています。団体としてはPRや啓発活動のために中央生涯学習センターで年2回の映画上映会の実施。団体でも映画のみエスカードのみという考えではないと思いますので、この提言をお伝え、視野を広げた活動を願う次第です。</li> </ul>
委員	<p>スポーツ大会出場補助金（スポーツ推進課）について。</p> <p>全国大会、関東大会出場に対する補助金だが、選手以外の父兄や指導員に対する補助もありますか。</p>
担当課長	<p>選手はもちろん、引率者、指導者にも交付をしています。保護者、指導員は引率者の場合もありますので、引率者というくくりで補助金交付を行っています。</p>
委員	<p>補助金額決定についての認識ですが、各課で計上した内容を補助金適正化委員会が審査し、その結果が各課に降りてくるという流れになりますか。</p>
次長	<p>当初予算を組み上げるうえで、現課が積み上げを行い、その結果を当初予算案として計上します。その後補助金適正化委員会で費用対効果等の審査が行われた後に最終的な決定が現課に降りてきます。</p>
委員	<p>スポーツチャンピオンフェスティバル実行委員会（スポーツ推進課）について。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の記載からすると、予算の内訳はメダルのようなのですが、これは昨年もそうでしたか。また、昨年もメダルなのであれば今年度と昨年度の予算に開きがあるのは物価上昇ですか。</li> </ul>
担当課長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年メダルです。予算変動については物価上昇の部分もありますが、メダルを購入しても大会の実施がなかった、当初予定数より減ったことによって残ったメダルは翌年度に繰り越しています。6年度においての大会、個数の要望もこれまでと変わりはないのですが、5年度で残ったメダル数が少ないことから、予算が多くなっています。</li> </ul>
委員	<p>近年の物価上昇を考えると、例年通りの補助金額だと実質目減りという認識でよろしいでしょうか。</p>
次長	<p>人件費高騰、物価上昇を加味すると実質的な減額ということは否めないと思います。前年同額で物事を進められるとは、現状を考えればありえない話ですし、補助金以外の改修工事費や保守関係でも人件費が上昇している状況です。現課としては、できる限り確保できるように話し合っています。実質的に減少という捉え方になっていると思います。</p>
委員	<p>うしくっ子体力向上プロジェクト実行委員会の投げるプロジェクトについて、募集人員はどれくらいですか。</p>
担当課長	<p>人員上限は特に設けていません。令和4年度より開始しましたが、コロナの影響もありましたので、中根小の児童クラブを対象に実施しました。令和5年度においても、多くの方の参加を目指していたので募集人員の上限を設けずに、市内全域の小学生にチラシを配布しました。</p> <p>親子参加でしたので令和5年度では16組32名、令和4年度は18組36名の参加となっています。</p>
委員	<p>予算額に対して参加者が少ないような気がします。もっと宣伝し、参加人数が増えるように広報活動を進めてほしい。良い事業なので、できるだけ多くの人に活用してもらいたいと思います。</p>
担当課長	<p>確かに昨年、一昨年は学校へのチラシ配布のみに終始していました。この事業は投げるという動作を通じて体の動きを覚え活動する楽しみを感じてもらうことを趣旨としています。球技以外のスポーツにも通じるプログラムになっているので、今後は、スポーツ少年団等に声をかけるなど、参加者が増える方策を考えていきたいです。</p>
委員	<p>先ほども話に出ましたが、様々なものが値上がりしており、補助金据え置きだと活動内容を取捨選択せざるを得ません。情勢等も考慮した補助金交付をお願いしたいです。</p>

次 長	当初予算計上時、減額・前年通りで計上しているわけではなく増額した事業もありました。物価上昇、人件費高騰などを市でも十分に認識している中で、この金額での提示となりました。このような背景を加味した上で、次年度予算を計上し、しっかりとした事業説明を行い、補助金を獲得できるようにしていきたいと考えてまいります。
令和6年度社会教育関係課等の事業概要について	
委 員	スポーツ推進課事業「運動部活動の地域移行を推進する」について。 バドミントン部の話が上がりましたが、全国的にもバドミントン部のある学校は少ないと記憶しています。私の出身地がバドミントンの国体会場になったことで、中学校のバドミントン部は全国レベルになりました。できるだけ、エキスパートを呼んで集中的に指導等をしていってはいかがでしょうか。 アメリカでは子どもに本物に触れさせており、一流の方の指導を通して子どもたちに感動を与え、また子どもたちがやりたいと思える場を作っていただきたい。
担当課長	勝ち負けを第一に考えるのであれば、エキスパートの指導が望ましいとは思いますが。 現時点でこの事業は、確実に活動のできる場を提供することを目標としています。いずれは土日の部活動がなくなった時に、社会の中で様々な経験してもらえらる場作りを進めたいと考えています。そして、将来的に子どもたちがエキスパートのようなレベルに触れることは必要になってくると考えるので、協力団体と教育委員会と一緒に検討していきたいです。 また、バドミントンは今回モデル事業として始めますが、令和8年以降様々な団体関わってきますので、本物に触れるという部分も加味しての協力をお願いしてまいります。
委 員	中央図書館事業「図書館資料を収集整理する」について。 事業費が32万円ほど増加していますが、増額分は全て図書を購入するということでしょうか。
担当館長	令和6年度の図書購入費は1,550万円です。増額はその他にかかる経費の増となっています。
委 員	以前にも電子図書館について挙がったことがありますが、電子図書館をどのように利用してよいかかわからない。
担当館長	令和2年度から検討しています。近隣市町村ではつくば市などが導入しています。電子図書館のメリット・デメリットを検討したうえで考えてまいります。
委 員	生涯学習課事業「社会教育委員の活動を支援する」について。 他市町村では社会教育委員の全国大会や関東甲信越大会へ参加しているが、牛久市は参加していない。全国大会等へ参加して他の活動状況を知ることも必要と思うので、予算獲得を希望します。
担当課長	特色ある内容を聞いて牛久市の社会教育に活かして提言していただけると、ありがたいと思います。次年度の予算計上に向けて、計画してまいります。
委 員	令和6年度の事業計画で新しい項目が見受けられないが、新規事業はないのでしょうか。
担当課長	スポーツ推進課については、事業として立ち上げるものはありませんが、「運動部活動の地域移行を推進する」の事業においては、新たにクラブを増やしています。
担当課長	生涯学習課については、新規の事業はありませんが、事業内容が毎年同じという訳ではありません。 例えば、文化協会では昨年度は50周年事業を行いました。今年は特色を変えて実施します。また、学校との連携として、文化協会発行の加盟団体冊子を学校に配布並びに学校授業への活用を目指すことで、学校と団体の協力体制作りも新たに行われています。
委 員	「社会教育委員とは何するものぞ」という点で、今回新任委員の方もいたので会議の目的や目標を、社会教育委員の役割について説明したほうが良いと思う。 また、すべての事業で何らかの課題を抱えているはずなので、課題対策への各委員の考えを共有して、令和7年度の事業案に反映できるような会議の持ち方が良いと、個人的に思います。会議の場では、課題に対する委員の意見を集約して社会教育委員全体として、牛久市の教育部門に提言していける会議を望みます。
委 員	生涯学習課事業「コミュニティスクールを運用する」について。 大幅な減額が行われていますが、これまでやってきたコミュニティスクールの活動から牛久市は手を引いてしまうのでしょうか。

担当課長	<p>今後もコミュニティスクールは継続して行われます。コミュニティスクールは国の方針にのっとって行っているもので、なくなることはありません。また、実施している13校の特色、課題もそれぞれなので、実情に応じて各学校でご無理のない範囲で行っていくこととなります。</p> <p>予算の減額ですが、事業費の減額ではなく、これまで複数事業に振り分けられていた会計年度任用職員の報酬を「社会教育指導員を任用し社会教育活動を支援する」に集約したことによる減額です。</p>
委員	<p>予算額が減額になっていたのも、コミュニティスクールが細々としてしまうのかなど心配したが、今後も国の方針にそって推進していくことを理解しました。</p>
委員	<p>生涯学習課事業「青少年育成牛久市民会議を支援する」について。</p> <p>青少年牛久市民会議の予算8万円が県協会への負担金となっています。事業名には「支援する」とありますが、市から市民会議への予算がないのは、支援するに当たらないのではないのでしょうか。</p>
担当課長	<p>青少年牛久市民会議は、補助金交付団体ではなく、会費によって運営されています。また、予算上の支援ではありませんが、キャンプへの随行や鯉まつり運営など側面から市民会議を支援しています。</p>